

環境調査結果のお知らせ

平成26年1月17日午前10時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の環境調査をしましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1)

湾内の水温は12.1~16.1℃、塩分は27.7~31.6でした。前回調査時(H25.12.9)と比較して、水温は1~2℃低下、塩分は0~2上昇していました。

溶存酸素量(表1)

湾内の溶存酸素量は7.1~7.8mg/lで、前回より0~1mg/l低下していました。

プランクトン(表2・3)

透明度は2.5mでした。

検鏡の結果、有害種のディクチオカ・スペキュラム及びミリオネクタ・ルブラが少数確認されました。

海面の様子や魚等の生物の異常を感じたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲む等して、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温・塩分・溶存酸素量

測定水深 (m)	今回調査			前回調査(H25.12.9)		
	水温 (℃)	塩分	溶存酸素量 (mg/l)	水温 (℃)	塩分	溶存酸素量 (mg/l)
0	12.1	27.7	7.8	13.8	25.3	8.2
1	15.7	31.2	7.1	17.1	29.4	8.0
B-1	16.0	31.6	7.2	18.1	31.7	7.6

表2 水深・透明度

	今回	前回
水深(m)	3.2	3.0
透明度(m)	2.5	2.5

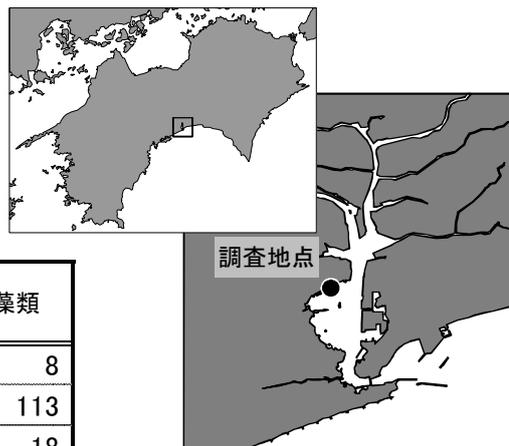


表3 プランクトン(cells/ml)

測定水深 (m)	ディクチオカ・ フィビュラ	ミリオネクタ・ ルブラ	プロロセントラム・ マイカンス	ケイ藻類
0	0	0	2	8
1	0	0	3	113
2	1	1	3	18

漁業被害が想定される細胞密度
 ●ディクチオカ・スペキュラム: 赤潮発生時(魚類のへい死)
 ●ミリオネクタ・ルブラ: 10cells/ml(貝類の赤変化)